



【「星を継ぐ」像 制作：工藤 潔 先生 題字：樽本 樹邨 先生】

特集

星城高等学校 創立 60 周年記念 「星を継ぐ」像 披露除幕式

● 学校法人 名古屋石田学園
〒460-0008 名古屋市中区栄1-14-32
TEL.052-689-6002 FAX.052-689-6003

 星城大学・大学院

 星城高等学校

 星城中学校

 星の城幼稚園

 専門学校星城大学リハビリテーション学院

 名英図書出版協会

 法人本部事務局



星城高等学校 創立 60 周年記念 「星を継ぐ」像 披露除幕式

令和 4 年、星城高等学校が創立 60 周年にあたり、記念協賛事業として、石田正城理事長・学園長の坐像「星を継ぐ」が建立されました。

この「星を継ぐ」像は、星城高等学校同窓会が発起人となり、永年にわたり私立学校教育振興に寄与され、多くの人財育成に貢献された石田理事長・学園長のご功績に感謝の意を表し、制作されたものです。

5 月 28 日（土）、「星を継ぐ」像披露除幕式が星城高等学校石田記念館にて執り行われました。

式典では、同窓会歴代会長の皆様よりご祝辞、銅像の制作者である工藤潔先生への感謝と石田理事長・学園長との懐かしい思い出が語られました。彫刻家・工藤先生からは、「今日の除幕を正城先生の一つの折り返し地点とし、益々たくさんのキラキラ光る星たちを輩出していただきたい」との言葉を頂戴しました。

最後に石田理事長・学園長より、発起人である同窓会の皆様、精魂込めて銅像を制作いただいた工藤先生への感謝の気持ちが述べられました。そして、創立者石田鑑徳先生より受け継いだ建学の理念を、今後一層高揚して行きたいとの強い決意が示されました。

「星を継ぐ」像は、星城高等学校石田記念館 1 階ロビーに設置されています。是非観て、触れて、石田正城理事長・学園長の思い・魂を皆様に感じていただきたいと思ひます。

「星を継ぐ」像 制作にあたって



【石田正城理事長・学園長（左）と工藤潔先生（右）】

彫刻家 工藤 潔

数年前、先生から胸像のご依頼を受け、大変光栄な事であり、同時に緊張感を覚えました。当初はご自宅に保管しておくとお考えの様子。しかし、令和三年は学園八十周年の節目の年であり、令和四年は高校六十周年、中学三十周年を迎えるということで、銅像をとの声は方々から耳にしていました。

制作にあたり、先生にイメージはとお尋ねした所、「任せる」の一言。制作前には必ずコンセプトを立てます。人となりや足跡から試行錯誤を重ねた結果、講話集「青雲の志」を携え、背には「彼我一体」を意味する三つの星をあしらひ、全体は三角形にし、城の優美さと安定感を持たせ、又実物より三割大きくしました。

この像の題字についてご相談したところ、ある日、「星を継ぐ」と言われ、何と素晴らしい言葉かと感激で身震いました。正しく鑑徳先生の教えを次世代の人々に托する「星を継ぐ」像です。

此度の同窓会による除幕式は、先生の折り返し地点と拝察し、この場に参加した関係者の方々と共に思い出深い日となり、作者冥利につきます。

星城高等学校 創立 60 周年にあたり



星城高等学校同窓会会長
大竹 寛

学校創立 4 年目に入学した私は、将来なりたい職業や夢も特に無く「とりあえず高校だけ出ておけば将来何とかかなる」と安易な気持ちでおりました。しかし、朱に交われば赤くなる、星城の精神がいつの間にか身につけていました。

名古屋で開催される同窓会総会に参加し、何度目かに誘われて会のお手伝いをするようになり、母校に対する気持ちが変わってきました。卒業時は良い思い出もなく「星城」の名前を出すのが嫌でしたが、今は堂々と言えます。良い後輩を育てて輩出されている学校、諸先生方に感謝しつつ、これからも見守り応援をしていきます。



石田 泰城

星城高等学校・
星城中学校校長

星城高等学校 創立 60 周年 星城中学校 創立 30 周年を迎えて

学園創立者である石田鑑徳先生の建学の精神「彼我一体」のもと、昭和 38 年に星城高等学校、平成 5 年に星城中学校を開校しました。以来、現在に至るまで建学の精神を大切にされた教育の実践に邁進しています。

創立 60 周年の節目を迎えた星城高校は明德コースを新設しました。このコースは、自分が「学びたい、知りたい」という分野を見つけ、積極的に学ぼうとする力を育てるものです。探究の時間やプログラム科目の学習を通じて、個々にあった進路実現をめざして欲しいと思っています。

また、創立 30 周年を迎えた星城中学校は、生徒主体の学校行事や英検準 2 級全員取得に向けて生徒自身が考え、実行する中からお互いに切磋琢磨し、楽しい学校生活を送って欲しいと思っています。

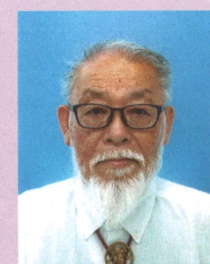
末筆になりましたが、高校創立 60 周年、中学創立 30 周年の節目を迎え、これまで本校を支えていただいた多くの皆さまに心から感謝申し上げます。

星城高等学校 創立 60 周年記念 「星を継ぐ」像 除幕式

～石田正城先生坐像建立に あたり～

この度、「星を継ぐ」像制作の発起人となり、ご尽力いただいた星城高等学校同窓会の歴代会長様よりメッセージを頂戴しました。

星城高等学校の卒業生である皆様の星城高等学校創立 60 周年に対する想いや高校生活を振り返って印象に残っている出来事などをうかがいました。



星城高等学校 3 代同窓会会長
徳倉 英成

石田正城先生の銅像「星を継ぐ」が建立されましたこと誠に目出度う御座います。

先生は、私達一回生が卒業した後で星城高等学校に奉職されたと記憶しています。残念ながら、在学中にお教え頂くことはありませんでした。同窓会との関わりの種々な場面においてお教え頂くことがあり貴重な体験でした。

同窓会会長として卒業式に参列させて頂く機会が何度もありましたが、毎回の式辞は、卒業生に対し心温まる旅立ちのお言葉を種々な角度からお話しされ、卒業生皆、心に残っているかと思ひます。

学園を、故石田鑑徳先生のお教えを具現化され、星城高等学校を「進学・スポーツ・国際交流・礼節」の標榜を実践され、星城大学を含めた総合学園に発展されたご努力・ご信念に対し改めて強い敬意を表します。

石田正城先生のご健康・ご長寿と共に、名古屋石田学園の益々のご隆盛及び星城高等学校の栄光ある未来を御祈念申し上げます。



星城高等学校初代同窓会会長
岡田 民生

名鉄前後駅から徒歩八分の通学路を歩み、新左山の丘陵に鉄筋コンクリート造りの校舎を見た時、小中学校の古びた木造に比べ、近代的な学舎に胸をおどらせて校門をくぐり、寒風吹き抜ける屋上

にて震えながら、先生方の心温まる入学式を、今でも鮮明に覚えております。

一期生は校長先生、学校関係者と一丸となって立派な学校にするのだと、心を合せ励んだ事をなつかしく思い出します。

六十年が過ぎ、幼稚園から大学を開校された諸先生方の御努力を思い感謝し、更なる発展をご祈念申し上げます。



星城高等学校 4 代同窓会会長
谷澤 幸次

高校六十周年記念同窓会協賛事業として、同窓会銅像建立委員として除幕式を仕切らせて頂き、無事に終えられた事は役員諸氏・学校関係者の皆様のお力添えがあったからこそ務めることが出来ました。

学校創立周年毎にイベント・記念品等々配慮し、それぞれ思い出深い事業を実施してまいりました。同窓会役員の皆様に私の我儘を押し付け、それを協力して支えていただいた素晴らしい役員の皆様、そしてその折々の学校関係者の皆様がいってこそ成りえてきたことです。此の紙面をお借りしてこれまでの周年事業に係り有った皆様に改めて御礼申し上げます。

除幕式は六十周年の通過点であり、この後も母校、同窓会が益々発展して盛大な周年事業が開催されます事を祈念します。

星城高等学校 60年のあゆみ

昭和

昭和 37年	設置認可
昭和 38年	本館建築完工 第1回入学式 石田鑓徳校長就任 体育館兼講堂建築完工
昭和 39年	普通科男女共学開始
昭和 40年	新館建築完工
昭和 44年	保育科・女子昼間定時制設置
昭和 46年	石田鑓徳校長藍綬褒章受章
昭和 47年	高校創立10周年記念式典 記念植樹
昭和 48年	新館4階増築完工
昭和 50年	創立者石田鑓徳先生逝去 石田鑓徳先生 従五位勲四等瑞宝章受章
昭和 51年	石田正城校長就任 石田鑓徳先生学園葬 第2グラウンド完成
昭和 52年	明徳館完工(第2体育館)
昭和 53年	第3グラウンド完成
昭和 54年	食堂完工 仰星館完成
昭和 57年	3号館校舎完工 テニスコート完成

昭和 57年	高校創立20周年記念式典 弓道場完成
昭和 60年	石田記念館建築完工
昭和 61年	仰星館増築完工 第4グラウンド完成
昭和 63年	昼間定時制廃止

平成

平成 元年	仰星館新館完成
平成 2年	トレーニングセンター完工
平成 4年	高校創立30周年記念式典
平成 5年	来客駐車場完成
平成 6年	保育科生徒募集停止
平成 8年	男子家庭科総合実習室設置
平成 10年	国際コース開設
平成 11年	男女共学制実施
平成 12年	インターネット常時接続 パソコン整備
平成 13年	学園創立60周年記念誌 「彼我一体」発行 創立者顕彰の碑除幕
平成 14年	高校創立40周年記念 栄光の碑(南庭園内)除幕
平成 16年	ソフトボールグラウンド完工
平成 18年	石田正城校長藍綬褒章受章 新体育館完工

平成 18年	石田鑓徳先生生誕100周年 記念式典 新校舎竣工 星城美術館開設
平成 19年	積徳館耐震補強改修工事完了
平成 22年	寺田志郎校長就任
平成 23年	学園創立70周年記念式典 記念講演「人形浄瑠璃」 高校創立50周年記念誌 「50年のあゆみ」発行
平成 25年	アスリート特進コース設置
平成 26年	星城高校版SGH推進活動開始
平成 27年	SGHアソシエイト指定校認定
平成 29年	安田英和校長就任 タブレット利用開始
平成 30年	四方元校長就任
平成 31年	文部科学省より「地域との協働に よる高等学校教育改革推進事業」 認定

令和

令和 2年	石田正城理事長・学園長 旭日中綬章受章
令和 3年	石田泰城校長就任 学園創立80周年記念 星城美術館特別展

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会 功労賞受賞

長きにわたり行われてきた学術活動による顕著な功績を讃えられ、NPO 法人愛知県理学療法学会より功労賞を受賞されました。これからの益々のご活躍を期待しております。おめでとうございます。



◆ 専門学校 星城大学リハビリテーション学院
坂口勇人 学院長

◆ 星城大学リハビリテーション学部
山田和正 学部長



学校法人 名古屋石田学園 創立 80 周年記念 寄付者御芳名録

名古屋石田学園 80 周年記念寄付へのご協力を、厚く御礼申し上げます。
ご寄付いただきました方々への感謝の意を込めまして、ここに御芳名を掲載させていただきます。

令和4年2月1日～令和4年6月30日現在

【法人】	【個人】	【学園関係】
あいち知多農業協同組合 様	相羽 直樹 様	星城大学 入試広報課一同 様
エヌビーエス 株式会社 様	池内 知子 様	明星会 様
大隅産業 株式会社 様	石原 正智 様	
株式会社 オハヨーサン 様	磯谷 和幸 様	
システムサポート 株式会社 様	伊藤 猛 様	
株式会社 玉清 様	鶴家 浩人 様	
有限会社 フクオカ 様	各務 壽彦 様	
宮地楽器 株式会社 様	加藤 明 様	
	金塚 典久 様	
	金田 珠実 様	
	木村 明宏 様	
	窪 優大 様	
	小林 竜一 様	
	菅原 秋彦 様	
	鈴木 雅也 様	
	高原 浩之 様	
	竹内 哲也 様	
	中嶋 和幸 様	
	中谷 政之 様	
	西村 信護 様	
	西村 美由樹 様	
	野村 昂平 様	
	早川 祐美子 様	
	坂野 錠 様	
	深谷 元彦 様	
	待田 和宏 様	
	三浦 雄一郎 様	
	山口 恵子 様	
	山田 恵隆 様	
	萬屋 京典 様	



名古屋石田学園 80 周年記念サイト

～引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。～

- ・五十音順に掲載させていただいております。
- ・お名前の公表を希望されていない方については、掲載しておりません。
- ・上記期間より前にご寄付いただきました方々の御芳名につきましては、前号(61～63号)に掲載しております。
- ・ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、法人本部事務局(052-689-6002)までご連絡願います。



20th 星城大学開学 20 周年記念 「建学の精神」 石碑建立

星城大学は令和4年度、開学20周年を迎えました。

石田正城理事長は、創立者石田鑓徳先生の建学の理念を、一層高揚したいという強い思いから、平成元年にまず短大を設立しました。その後、「魅力ある大学」を目指し、創立者の夢であった四年制大学へと改組転換し、今年で20年が経ちます。

6月18日(土)、星城大学東海キャンパス内にある創立者の銅像の前に、星城大学の建学の精神である「彼我一体」そして「報謝の至誠」「文化の創造」「世界観の確立」を刻んだ石碑を建立しました。

「彼我一体」、彼と私は一体である。人間というのはすべてのものに生かされている。我何であるか、生かされてきた人間であるというのが最初の理念です。

創立者石田鑓徳先生の理念を今一度、学生の皆さんに伝えたい思いから、大学20周年の記念に石碑として形にしました。

建学の精神の石碑が、これから学生の皆さんにとって、この学校に何を学びに来ているのか、大学生とは何かを考える機会、場所となっていくことでしょう。



※ 建学の精神については、名古屋石田学園報 No.62 以降のシリーズ「建学の精神」もご参照ください。

令和3年度学園財務情報(決算の概要)

収入の部		支出の部	
科目	決算 比率	科目	決算 比率
学生生徒等納付金収入	2,629,539 24.2%	人件費支出	2,305,669 21.2%
補助金収入	928,408 8.5%	教育研究経費支出	720,171 6.6%
前受金収入	486,663 4.5%	管理経費支出	283,164 2.6%
付随事業・収益事業収入	22,848 0.2%	施設関係支出	206,324 1.9%
手数料収入	125,303 1.2%	設備関係支出	72,200 0.7%
寄付金収入	77,253 0.7%	その他の支出	6,602,832 60.7%
その他の収入	6,178,340 56.7%		
前年度繰越支払資金	432,241 4.0%	翌年度繰越支払資金	690,235 6.3%
収入の部合計	10,880,595 100.0%	支出の部合計	10,880,595 100.0%

収入の部		支出の部	
科目	決算 比率	科目	決算 比率
学生生徒等納付金	2,629,539 64.4%	人件費	2,332,894 63.9%
経常費等補助金	908,966 22.3%	教育研究経費	1,008,817 27.6%
付随事業収入	20,848 0.5%	管理経費	300,883 8.2%
手数料	125,303 3.1%	その他	9,318 0.3%
寄付金	77,253 1.9%	事業活動支出の部合計	3,651,912 100%
その他	322,455 7.8%	基本金組入前当年度収支差額	432,452 -
事業活動収入の部合計	4,084,364 100.0%	基本金組入額合計	△ 350,711 -
		当年度収支差額	81,741 -

資産の部		負債の部、純資産の部	
科目	本年度末 比率	科目	本年度末 比率
固定資産	20,463,973 96.0%	固定負債	1,601,546 7.5%
流動資産	862,128 4.0%	流動負債	923,079 4.3%
		基本金	18,590,563 87.2%
		繰越収支差額	210,913 1.0%
資産の部合計	21,326,101 100.0%	負債及び純資産の部合計	21,326,101 100.0%

● 資金収支計算書は、その年度の学園の諸活動に対応する収入及び支出のすべて、並びにその年度における支払資金の収入及び支出の状況を明らかにするためのものです。そのため事業活動収支計算書とは異なり、次年度の収入となる前受金収入や、施設設備に関する支出及び借入金返済支出など資産・負債の振替、資金運用等についても計上されています。

● 事業活動収支計算書は、収支の均衡の状態とその内容を明らかにすることによって、学園の経営状態を把握するためのものです。そのため、資産・負債の振替等に伴う収支などは除かれ、また退職給与引当繰入額、減価償却額、資産処分差額、現物給与等、資金の収支を伴わない金額が計算されたうえで年間収支をとらえています。

● 貸借対照表は、令和4年3月31日現在の財務状況を示すものです。

学園アカルト

指定強化クラブ所属学生を対象とした学長訓示と学生生活委員長講話

星城大学



【学長訓示に対する学生宣誓】

5月23日(月)に指定強化クラブ所属学生を対象とした横井学生生活委員長からの講話、そして、6月1日(水)に指定強化クラブ奨学生を対象とした石田学長先生からの訓示が行われました。

石田学長からは「知性と人格の両面からの教育をおこなう」という創立者 石田鑑徳先生の想いに触れ「クラブ活動を通して人格形成をすると同時に勉学にも励んで知性も育ててもらいたい」等の訓示がありました。



【横井学生生活委員長による講話】

また、横井学生生活委員長からは、指定強化クラブに所属する学生の行動と意識について厳しくも暖かい講話がありました。

本学は、出席した学生達が、学業に励み健康に留意しながら一般学生の模範となるような学生生活を送ってくれることを期待します。

普通科「明德コース」始動!

星城高等学校

今年度入学した1年生から、従来の普通コースが「普通科 明德コース」という名称に変更されました。単に名称が変更されただけではなく今まで以上に特色に溢れた魅力あるコースになりました。

新たな特色は、1.「総合的な探究の時間」を中心とした探究学習の充実 2.「アカルト研修旅行」を設定 3.「プログラム科目」の導入の3つです。

「総合的な探究の時間」は、「探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習をおこなうことを通して、自己の在り方・生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す」という文部科学省の指針に基づき、普通科明德コースの探究テーマを「未来探究」としました。

人とのつながりを大切に、夢の実現に向けて前に踏み出し、社会に貢献できる人材の育成を目標にしています。スローガンは、「自分のやりたいことを探究して、未来のSTARに!」です。

普通科明德コースは始まったばかりですが、2年次から「プログラム科目」が実施されます。約50のプログラム科目から、週4時間分を自分で選択し設定します。自分が選択した学習を通して、自らの学びに向かう姿勢を育成します。



【未来探究授業 - みんなで課題を付箋に書き出します】

「探究する」「自ら学ぶ」学習を通して、積極的に挑戦する力を育みます。個々に合った進路の実現のため、社会に役立つ力を身につけます。授業や多くの学校行事・課外活動で「誇れる自分」を自分で育てましょう。

歓迎アクティビティ

星城中学校



【バーベキューで親交も深まりました】



【上級生の姿が頼もしいです】

1年生が1日でも早く中学校に馴染んで、元気に楽しい学校生活をスタートできるよう、リトルワールドで歓迎アクティビティを実施しました。

学年の壁を超えた交流を通して、自由かつ自律的に行動することの大切さを学んでほしい、また、楽しい時間が過ごせることへの感謝の気持ちを感じてほしいという願いを込め、3年生が中心となり、ルールづくりから班編成、バーベキューなどの企画運営に至るまで創意工夫を凝らしました。その姿に新入生たちが頼もしさを感じた一日になったと思います。

上級生の背中を見て、新入生のみなさんがたくましさを実践力を持った感謝のできる星城中学生へと成長していくことを期待しています。

楽しい幼稚園

星の城幼稚園

今回は、幼稚園の生活の一部をお知らせします。

幼稚園のインコ。オスは「ながれぼしくん」、メスは「ぴーちゃん」、名前は年長組が考えました。また、園庭の隅々には亀がいます。ここも人気スポットです。「かめのごはんあげた?」「かめのみずがきたなくなっているよ。」などと心配してくれます。そして、職員室の南側で年長・年中組がキュウリやナスを育てています。収穫すると職員室にもってきて、「料理してください。」とお願いします。生き物や植物に対する感謝や愛情が自然に持てるようにしています。



写真はある日の給食です。子どもたちがその日の体調やし好に合わせて量を調整できるように、バイキング方式を取り入れています。これも食育の一環と捉えています。

【人気のかめさん】



【りっぱなキュウリがとれました!】



臨床実習指導者会議

星城大学リハビリテーション学院

4月22日(金)に、約3年ぶりに長期実習に向けた臨床実習指導者会議をウインクあいちにて実施しました。

今回の実施にあたっては、令和2年度に全国の理学療法士養成校のカリキュラムが変更となり、令和4年度の最終学年である3年生の臨床実習内容が大きく変更されたため、多くの臨床実習施設の指導者の先生にご理解とご協力をいただきながら、臨床実習を進めなければならないという強い思いのもと実施されました。



【臨床実習指導者会議の様子】

会議後半には、本学院の卒業生を含む臨床実習施設の指導者の先生方と3年生で対面による面談を行い、より良い臨床実習となるための貴重な時間とすることができました。



【面談では疑問点を質問しました】

学園創立 80 周年を機に原点回帰し、創立者石田鏞徳先生の「思い」を、改めて現代を生きる私たちが考えていく場とさせていただきます。

現理事長石田正城先生は、創立者の教育理念を学園、社会に、さらに世界に向けて具体化するため、これまでも尽力されてきています。シリーズ「建学の精神」第3回となる今回は、創立者の「思い」を継承した石田正城理事長に「文化の創造」について寄稿していただきました。

「文化の創造」

名古屋石田学園理事長・学園長 石田正城

「人身得ること難し、仏法値ふこと希れなり。今我等宿善の助くるに依りて、己に受け難き人身を受けたるのみに非ず、遭い難き仏法に値ひ奉れり。」— 道元（曹洞宗の開祖）【『祈明日』序文】

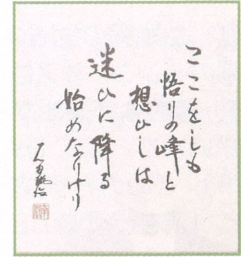
この世に、人として生を享けることは稀有なことであり、ここに人間の生命の尊厳があります。“人間として如何に生きるか。”教育の本当の意義は、実力を養成して人格を錬磨することにあります。人間の未完成の征服こそが人類の希望であり、魅力でもあります。この希望がある故に勇気が湧き、努力へと繋がります。

学生諸君、今、この時期（青春時代）は自分の人生を自分で決められ得る、力量をつける時です。その信念、主体性は、努力と経験無くして形成できません。

文化（culture）。英語では「耕作」という意味があります。動詞はcultivate「耕す」、「挑戦する」という意味になります。本学園の幼稚園では、園児たちに「はい、ありがとう、ごめんなさい」の三本の鋤の刃で明らかに、豊かに心を耕していきます。

しかし、心を豊かにするには、他人に強いられて行動しては身につけません。自ら主体的、自修的に行動することによってこそ、意欲が高まり、良い結果を得ることができるのです。

「文化の創造」— 創立者は艱難辛苦の生活体験の中から「文化の創造」即ち「ここをしも 悟りの峰とは想ひしは 迷ひに降る始めなりけり」の信条を得たのです。



☆「文化の創造」につながる先哲たちの教え（抜粋）

☆ 教育は、流水に文字を書くようなはかない仕事である。しかし、それに命を懸ける決意がなければ教師になれない。そして、文字を巖壁に刻むような真剣さで取り組まなければならない。

— 森 信三（教育実践学者）

☆ 「只管打座」「喫茶喫飯」 ただひたすらに座禅修行をなさい。お茶をいただいたならそのお茶を飲み、ご飯をいただいたならそのご飯を食べる。何気ない日常の一コマ一コマに真摯に向き合って、かけがえのない「今」を大切になさい。

— 道元（曹洞宗開祖）

☆ この世に「雑用」という用はない。用を雑にしたときに、雑用が生まれるのだ。

— 渡辺和子（キリスト教カトリック修道女）

☆ 基本的には、プロはミスしてはいけない。…百回やっても百回、千回やっても千回絶対自分ではできると、強い気持ちを持って臨むのがプロというもの。…後悔しないためにはどれだけ準備できるか。貪欲な気持ちで気力を持ち続けられるか。

— 王 貞治（元プロ野球選手・監督）

☆ 三つの教え「1. 大きな声を出して、元気よくプレイする」「2. キャッチボールを一生懸命に練習する」「3. 一生懸命に走る」

— 大谷 徹（大谷翔平選手の父親・少年野球監督）

大谷翔平選手は今でもこの教えを胸に抱き、目標をしっかり持ち、懸命に練習し、他人（相手）の気持ちを大切にしています。

「人になる」とは、自分がどうあるべきかを考え、自分と付き合う心（姿勢）を一生持ち続けること。即ち、一言で言えば「不断的努力」です。

Look Up Young People at the Star-Studded Heavens Where Hope Burns with Eternal Light!

「若人よ 星空を仰げ 希望は燃えなん 光と共に」